

外国人住民に防災教室



防災教室の内容を話し合う市消防局職員や
ひまわり21の会員たち

来月から呉市消防局など

簡単な日本語避難法助言

呉市の市消防局と日本語学習支援団体「ひまわり21」は9月から、外国人住民向けの防災教室を共同で開く。災害時に逃げ遅れないように防災の知識を持ってもらうのが狙い。簡単な日本語を使い、避難方法や119番のかけ方などを助言する。(小林可奈)

防災教室では、地震や津波が発生した時の避難の場所や方法のほか、避難所での生活の仕方、119番のかけ方を学ぶ。母国語が異なるさまざまな外国人が理解しやすいように簡単な日本語を使う。本年度中に5、6回開く。受講者の反響を見て、今後も継続的に開催できるよう教室のプログラムも作る予

定。
市内には7月末現在、2773人の外国人が暮らす。市は外国人を、避難時などに支援を必要とする「災害時要援護者」の対象にしているが、これまでに防災教室などは開いていなかった。「外国人が日本で暮らすには防災教育が欠かせない」としてひまわり21が、

市消防局に協力を依頼した。
東日本大震災で外国人への支援活動をしたNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会(大津市)の加藤純子さん(31)によると、外国人の中には避難所の存在を知らず、逃げ遅れる人もいたという。
市消防局は「外国人への対応を整えることで市の防災体制を強化したい」、ひまわり21の大谷真由美代表(40)は「外国人住民が安心して呉で住んでいけるよう継続的に取り組みたい」と話す。

呉・東広島



ハウスクリーニング
ぽけっと
たため・ふちま
ハウスクリーニング
内装リノベーションなど
お家のことなら
まずは何でもご相談下さい

ぽけっとグループ
いくさやさん
0120-193-833
東広島市八本松町正力